



窓からの陽射しに包まれながらダイニングでティータイム。空間が明るくなるよう、階段のデザインが工夫されている



アンティークのアイテムがディスプレイされた玄関ホール



爽やかな風が抜け、たくさんの窓から光が降り注ぐ吹き抜け上部



寛ぎの時間が流れるリビング。奥様のお気に入りのクラシックなアンティークが飾られている



吹き抜けと部屋のベースカラーの白が、開放感と明るさを演出

異国情緒が漂う家 第六章

優美なアンティークが映える 英国風の佇まいの館

部屋ごとに違う 雰囲気を楽しむ

N様邸は、静かな住宅街の坂の上にある、英国風のお住まいです。玄関のドアを開けると、ホールのアンティークチェストには、花やエレガントな置物が、彩りよくディスプレイされています。

最初に案内していただいたのは、ホールの左手にあるリビング。暖色系のダウンライトが、3台の彫りの

2階が上がってまっすぐ進むと、まずお嬢様のお部屋。そして隣は奥様のお部屋でした。落ち着きのあるクラシックタイプのインテリアでコーディネートされており、静かな時間が流れていました。

その奥には洗面・脱衣所と浴室、そしてレストルームもあります。寝室のすぐ近くなので、ホテルの一室に在るような、効率的な動線です。

デザインの希望に 細やかに提案

N様のお住まいになっている土地は、実は家の建築が難しい場所でした。奥様は、いくつかの住宅メーカーに相談。解決方法を提示したが、トガシホームでした。

また、奥様は「私たちの様々な希望への対応だけでなく、細やかな提案をしてくださったのも、ありがたかったですね」とおっしゃいます。奥様がこだわったのは、とにかくデザイン。収納やその他のことについては、あまりお考えになっていなかったそうです。しかし、トガシホームはパントリーや勝手口、シューズクロークなどの収納、断熱材などをきっちり提案。N様は、毎日快適にお過ごしになっている

美しいガラスキャビネットを柔らかく照らしていました。その中に飾られているのは、気品と独自の個性をあわせ持つ、ティーカップや陶器の器形です。奥様は、一つひとつの魅力や、ここに収まることになった物語を、お話ししてくださいました。まるでイギリスのご家庭のティータイムに、招待されたようなひとときでした。

ホール右手はキッチン、ダイニングとつながります。かすかにピンク色がかかった白い壁が、お洒落で可愛いカフェのような雰囲気を醸し出します。娘は、フランス風のアンティークが好きなので」と奥様。ダイニングは、実は5.2帖ほどなのですが、吹き抜けになっているので、開放感があります。東側と南側、そしてすぐ横の階段に窓があるため陽光が降りそそぎ、明るい陽だまりのようなスペースです。奥様は、朝から昼間にかけて、この場所を中心に過ごされるそうです。

階段の窓からは、季節ごとに装いを変える桜並木を、遠くに望むことができます。窓の位置は、大工さんが決めてくださいました。特に桜の時期は、一幅の絵のようにきれいで」と、この土地の良さを活かした設計に、満足されていました。

とのことでした。N様は、明確なイメージをお持ちで、それに合わせてご提案させていただきました。インテリアのお店にご一緒したり、ペンキの色を調合するとき、最後の「一滴！」にもこだわったりしました」と、当時の担当者たちも楽しそうに話していました。

お部屋ごとに壁紙やインテリアが装いを変え、季節や時間の移り変わりを楽しめるN様邸。「好きな物に囲まれて生きていることを感じます」と奥様。これからも、お気に入りのアンティークをそろえたり、親しい方々をお招きしたりと、充実した時間をお過ごしになることでしょう。



“I love my home.”トガシホーム
株式会社 富樫工業

宮城県仙台市青葉区上愛子字蛇台原16-1
TEL 022-392-2415 FAX 022-392-2417
URL <http://www.k-togashi.co.jp>

トガシホーム 検索